

競争的資金獲得状況

公的研究費

(当研究室スタッフが代表)

1. 令和2年-4年 治療から予防へ: エピトープ/パラトープ解析に基づく革新的免疫制御法の創出研究代表者(代表: 小林孝彰) 科研費 基盤研究(B) 17,680,000(総額)
2. 令和元年-令和3年 長期生着を目指した Individual immune monitoring の構築(代表: 松岡裕) 科研費 基盤研究(C)
3. 令和元年-令和3年 腎移植における BK ウイルスモニタリングシステムによるグラフト長期生着への取り組み(代表: 三輪祐子) 科研費 基盤研究(C)
4. 平成30-令和2年 ドナー特異的抗体(DSA)制御に向けた HLA 産生 B 細胞への多角的アプローチ(代表: 野田貴幸) 科研費 基盤研究(C) 4,290,000(総額)
5. 平成30-令和2年 腎移植における精密医療の導入: TCR/BCR 制御による HLA ミスマッチの克服(代表: 小林孝彰) 科研費 萌芽研究 6,240,000(総額)
6. 平成29-31年 T細胞亜集団の偏りを生む HLA・A/B 抗体と内皮細胞応答: 抗体陽性移植の新機軸(代表: 岩崎研太) 科研費 基盤研究(C) 4,680,000(総額)
7. 平成29年 ヒト化マウスを用いたドナー特異的 HLA 抗体(DSA)産生 B 細胞の分化・機能の解析(代表: 野田貴幸) 奨励研究 570,000(総額)

8. 平成 28-30 年 ABO 血液型不適合腎移植における免疫学的リスク・ベネフィット解析と抗体治療の開発 (代表：三輪祐子) 科研費 基盤研究 (C) 4,550,000 (総額)
9. 平成 28-30 年 移植腎グラフトの長期生着をめざした慢性拒絶反応に対する予防・先制医療の導入 (代表：小林孝彰) 科研費 基盤研究 (B) 17,680,000 (総額)
10. 平成 27-28 年 抗体機能の多様性解析から戦略へ：ABO 不適合・HLA 抗体陽性移植モデルブタの作成 (代表：小林孝彰) 科研費 挑戦的萌芽 3,640,000 (総額)
11. 平成 27-29 年 多機能抑制性 B 細胞による臓器移植の新規脱感作・免疫寛容誘導法の開発 (代表：大段秀樹、分担：小林孝彰) 科研費 基盤研究 (A) 2,000,000 (分担)
12. 平成 25-27 年 トロンボモジュリンの多機能性解析と移植における治療戦略の開発 (代表：三輪祐子) 科研費 基盤研究 (C) 4,940,000 (総額)
13. 平成 25-27 年 腎移植における慢性抗体関連型拒絶反応制御のための総合的戦略 (代表：小林孝彰) 科研費 基盤研究 (B) 17,940,000 (総額)
14. 平成 26-28 年 移植腎グラフトにおける抗体抵抗性生存シグナル誘導による慢性拒絶反応の予防 (代表：岩崎研太) 科研費 基盤研究 (C) 4,940,000 (総額)

(当研究室スタッフが分担)

15. 平成 31-令和 4 年 器移植を革新する免疫プロファイリングによる個別化医療の開発 (代表：大段秀樹、分担：岩崎研太) AMED 10,000,000(総額)

16. 平成 31-令和 2 ガスメディエータ送達技術の拡大適応ドナー臓器への応用（代表：畑山直之、分担：小林孝彰） 科研費 基盤研究（C） 4,290,000(総額)
17. 令和元年 研究開発課題名：臓器移植を革新する免疫プロファイリングによる個別化医療の開発（代表：大段秀樹、分担：岩崎研太） AMED

民間財団

1. 令和 2 年度 移植腎長期生着を目指した BK ウイルス制御の免疫学的アプローチ（代表：三輪祐子） JB 奨学寄附 100,000(総額)
2. 令和元年度 ヒト化マウスを用いたドナー特異的抗体産生モデルの構築と機能解析（代表：小林孝彰） ノバルティス研究助成 500,000(総額)
3. 令和元年度 タンパク尿がもたらす腎障害における Autophagy 誘導効果（代表：永井琢人） ノバルティス研究助成 500,000(総額)
4. 令和元年度 de novo DSA 産生に影響を及ぼす、レシピエント HLA class II・ドナー peptide の複合体の検討（代表：友杉俊英） 腎臓財団 200,000（総額）
5. 令和元年 Autophagy 活性化による腎臓病克服のための基礎研究（代表：岩崎研太） 愛知医科大学・学内研究ユニット創出支援事業 1,000,000（総額）

6. 令和元年 タンパク尿がもたらす腎障害における Autophagy 誘導効果（代表：永井琢人） ノバルティスファーマ研究助成 500,000（総額）
7. 令和元年 ヒト化マウスを用いたドナー特異的抗体産生モデルの構築と機能解析（代表：小林孝彰） ノバルティスファーマ研究助成 500,000（総額）
8. 平成 30 年 腎移植後の BK ウイルス再活性化と de novo DSA 産生との関連性 -メカニズム解析におけるグラフト長期生着への試み（代表：三輪祐子） 腎臓財団 150,000（総額）
9. 平成 30 年度 アステラスリサーチグラント 2,000,000 円（総額）
10. 平成 29 年 慢性腎不全・移植腎における Autophagy 制御と腎保護効果の検証（代表：松岡（直）） 腎臓財団 200,000（総額）
11. 平成 29 年 ヒト末梢血 B 細胞培養によるドナー特異的抗体（DSA）検出法の確立（代表：野田貴幸） 腎臓財団 200,000（総額）
12. 平成 29 年 慢性拒絶反応制御のための包括的アプローチ（代表：小林孝彰） 那古野医学振興会 2,200,000（総額）
13. 平成 29 年 尿タンパクと腎機能障害：Autophagy 減少抑制による腎保護効果の検証（代表：松岡裕、永井） ノバルティスファーマ研究助成 500,000（総額）
14. 平成 27-28 年 腎移植患者における減量シクロスポリン併用エベロリムス群と標準量

シクロスポリン併用ミコフェノール酸モフェチル群の比較試験の5年後追跡調査（代表：小林孝彰） ノバルティス受託研究 5,000,000（総額）

15. 平成29年 免疫抑制療法のテラーメイド化と免疫機能の多元的評価（代表：松岡裕）
ノバルティスファーマ研究助成 500,000（総額）

16. 平成29年 腎移植におけるドナー/レシピエント移植前尿検体を用いたBKV再活性化
リスク因子同定の試み（代表：堀見） ノバルティスファーマ研究助成 500,000（総額）

17. 平成29年 Single cell解析とTCRレパトア解析によるドナー特異的応答TCRの同定
と個別化医療への挑戦（代表：小林） ノバルティスファーマ研究助成 500,000（総額）

18. 平成29年 mTOR阻害剤（エベロリムス）投与によりカルシニューリン阻害剤を安全に
減量できる理論的根拠の解明（代表：小林孝彰） ノバルティス受託研究 5,000,000
（総額）

19. 平成28年 薬力学解析・免疫モニタリングによる免疫抑制薬の個別化療法に向けての
試み（代表：松岡裕） 腎臓財団 100,000（総額）

20. 平成28年 内皮細胞HLAの発現抑制シグナルの同定と薬剤探索（代表：岩崎研太） 日
本臓器保存生物医学会「研究奨励賞」 1,000,000（総額）

21. 平成28年 ABO不適合腎移植における抗体接着の功罪（代表：三輪祐子） 那古野医

学振興会 2,000,000 (総額)

22. 平成 28 年 抗体関連型拒絶反応における炎症・凝固反応の制御 (代表: 小林孝彰) ノバルティスファーマ研究助成 1,000,000 (総額)
23. 平成 28 年 ドナー特異的抗体産生 B 細胞培養システムの開発とその同定 (代表: 松岡裕) ノバルティスファーマ研究助成 500,000 (総額)
24. 平成 28 年 抗体関連型拒絶反応抵抗性獲得を可能にするシグナル伝達経路の同定とその診断 (代表: 堀見孔星) ノバルティスファーマ研究助成 500,000 (総額)